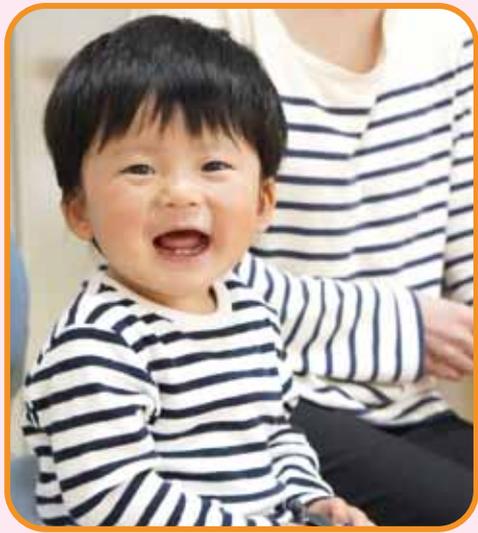


「歩くの大好き」



こだに しゅんいち  
**小谷 峻市 くん**【上石見】  
令和2年3月27日生まれ  
(父) 峻慈さん (母) 美佳さん

歩くことが大好きで、家では椅子を押して歩いたり、あらゆるとびらを開け閉めして遊んだり、とても活動的です。外に出たて、自分の靴を持ってきて、外で遊ぼうと誘ってくれます。

言葉もわかるようになってきて、やり取りやおしゃべりをしてくれて可愛いです。

「すすすす元気で、やさしい人になってほしいな」とご両親。



くわはら はなの  
**桑原 花彩 さん**【生山】  
令和2年3月28日生まれ  
(父) 駿佑さん (母) 理沙さん

なんでもよく食べ、特にイチゴが大好きです。

お姉ちゃん、お兄ちゃんのことが大好きで、真似をして、同じことをしたがります。

最近は言葉も増え、たくさんお話しができるようになってかわいいです。音楽に合わせてダンスを踊ってくれます。

「元気にすすすす育ってほしいな」とご両親。

「お姉ちゃん、お兄ちゃん大好き」

## 我がまちの おすすめスポット

### 「山はどこへ？」

阿毘縁むらづくり協議会



山上から阿毘縁へ向かう主要地方道安来伯太日南線の左手にこのような看板があることをご存じですか？この看板は阿毘縁地域の深谷にある、たたら製鉄と鉄穴流しの記録を示すものです。（※たたら製鉄：高温の炉内に一酸化炭素ガスを発生させ、砂鉄（酸化鉄）を還元して鉄を作る技術。）

鉄穴流しは山肌を削り、土砂を井手（水路）に流して、比重の重い砂鉄を選別するという方法で、山を削り、砂鉄以外の砂は下流でせき止めて堆積させた結果、広く平らな土地が生まれ、田んぼとなりました。また日野川によって運ばれた砂は、最下流に米子平野や弓ヶ浜半島を形成したとも言われています。

下は100年前の写真(左)と現在の写真(右)です。左の写真の中で作業している人が数人いるのが解るでしょうか？重機のない時代にすべて人力で、何十年も掛けてこうした作業を行ってきたとは驚きですね。



看板を見たことがある方もそうでない方も、看板と現地を見比べ、100年前に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

資料提供(左)：鳥取県立図書館

協力：伯耆国たたら顕彰会

問 阿毘縁むらづくり協議会 TEL 87-0909